

平成28年度

事業報告

社会福祉法人高浜市社会福祉協議会

平成28年度 事業報告

近年ではマイナンバー制度（社会保障・税番号制度）やスマートフォンの普及を始めとした情報通信技術の急速な進歩や人工知能の研究など、人口問題のみならず、私たちの暮らしを支える社会生活基盤も大きく変わっていきようとしています。そうした中、生活困窮に至るリスクの高い人々や複合的な課題を抱えた世帯が増大しており、生活を重層的に支えるセーフティネットの構築の重要性が高まり、また、認知症高齢者の増加が見込まれることから、そうした方々の生活を地域で支える体制づくりも重要な検討課題になっております。

そのため、本会では個人が抱える生活課題を支援するとともに、地域での見守り・支え合いの輪を拡げ、住み慣れた高浜でいつまでも安心して暮らし続けられるように、地域住民の互助・共助の基盤づくりをすすめるために、以下の事業に取り組んでまいりました。

1 高齢者・障がい者・子どもを含む包括的な支援

高浜市において検討が進められる「たかはま版地域包括ケアシステム」の構築について、本会が行っている高齢者、障がい者、子どもに対する、さまざまな支援事業を活かし、その一端を担えるよう努めるということで、子どもから高齢者まで誰もが利用可能な地域共生型福祉施設の設置を行い、平成28年6月より運営を開始しました。

地域共生型福祉施設では、認知症高齢者やその家族を高齢者、障がい者、子どもを含む地域の方などと一緒に支えることを目指し、地域交流スペース等を活用し、様々な交流を行いました。

2 日常生活における困りごと対応力の強化

本会が、高浜市より受託している「生活困窮者自立相談支援事業」「権利擁護支援センター事業」を通し、窓口に見える生活に課題を抱えた相談者に対し、関係機関等と連携しながら、相談者が日常的な生活を自らの力で維持できるようにするための支援や、相談者の尊厳や人権が侵されることのないような支援を進めました。

3 ボランティア活動の推進

災害時に災害ボランティアセンターが円滑に運営できるよう、碧海5市の社会福祉協議会と協働で、災害ボランティアコーディネーターを育成すると共に、受講生や関係機関との連絡調整や情報交換できる体制づくりに努めました。

さらに、ボランティア活動を通じて地域住民同士の助け合い、支えあい活動が展開されていくように、ボランティア養成・研修においても、日常の暮らしに役立ち、地域の見守り支えあいにも結びつく内容を実施しました。

4 子育て支援事業の推進

新たに運営を開始した地域共生型福祉施設においては、子育て支援センターの運営を開始しました。子育て支援センターでは、南部保育園と連携しながら子育て中の方が不安や悩みの相談ができ、他の親子と交流し、地域の方々と馴染みの関係を築いて子育てに楽しく向き合えるようなサポートを行い、地域での子育ての支援に努めました。

また、こども発達センター等各種関係機関との連携を図り、安心して子育てができる環境整備に努めるとともに、地域活動に積極的に関わり、地域と子どもとがつながるきっかけを創出してまいりました。

5 障害者の地域生活支援づくり

障害者地域自立支援協議会で災害時の課題などについて検討され、災害時の対応の必要性を進言し、新たに「防災部会」が設置されました。また、利用者が増加している子どもに関する障害福祉サービス事業所が市内で4か所になったこともあり、より円滑な利用に向けて、障がいのある人の家族に対して「事業説明会」を初めて開催しました。このように障がいのある人の生活を支援するための仕組の構築に努めました。

また、企業や商工会、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター、病院などのメンバーで高浜市障害者就労支援会議を開催し、市内の企業や事業所での雇用促進に向けて、商工会会員事業所に対して雇用についてのアンケート調査やヒアリング調査を実施しました。

6 高齢者への在宅福祉サービスの充実

介護保険制度の改正により、予防給付のうち訪問介護・通所介護が、市町村が地域の実情に応じた取組みへ移行される中、地域共生型福祉施設において、認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で在宅と同じように暮らせるよう認知症高齢者の方のグループホームの運営を開始しました。

さらに、閉じこもり防止、自立支援、心身の活性化を目的とし、地域の方が楽しみをもって介護予防ができる通いの場を設けて、利用していただきました。

7 法人内連携の強化・人材の育成

法人内の人材育成として、コミュニケーション向上研修、リーダー研修を行い、本会の使命を組織全体、全職員で取り組めるよう体制整備に努めました。

[主要成果]

I 社会福祉事業

1 法人運営部門

【決算額：85,373,166円】

(1) 法人運営事業

【決算額：47,290,452円】

① 会員募集

社会福祉協議会の会員として納めていただく会費は、ボランティア活動をはじめとした様々な地域福祉活動を実施していくうえでの大切な財源のひとつとなっています。

多くの皆様が本会事業の趣旨に賛同し会員となり地域福祉活動を支えてくださいました。

区 分	会 費	会員数	(備 考)
一 般 会 員	2,372,609円 (2,450,476円)	8,248人 (8,468人)	年額 300円/口
特 別 会 員	70,000円 (58,000円)	65人 (57人)	年額 1,000円/口
法人(団体)会員	516,000円 (506,000円)	40社 (39社)	年額 2,000円/口
合 計	2,958,609円 (3,014,476円)	—	—

② ボッチャ普及の取り組み

だれでも気軽に楽しめる障がい者スポーツ「ボッチャ」の普及を通して、障がいに対する理解の促進、年代を問わないコミュニケーションツールとして活用できるように取り組みました。

■ ボッチャ普及連絡会の開催

回数：年間6回（5回） 参加人数：延べ54人（延べ44人）

■ ボッチャ普及の取り組み

取り組み	回数	参加者（人）
小学校での福祉教育～障がい者スポーツを知ろう ボッチャ体験～	5（-）	434（-）
健康自生地フェスタでのボッチャ体験コーナー	1（1）	70（80）
高取公民館文化祭・大運動会でのボッチャ体験コーナー	1（-）	20（-）
中央児童センターでのボッチャ体験コーナー	1（-）	30（-）
わくわくフェスティバル 企画 ～輪 たかはまリジナルボッチャゲーム～	1（1）	292 (385)
第3回たかはまボッチャ競技大会	1（1）	135（80）

③ 保育所施設整備整備積立資産

積立金残高	4,000,000円（-）
-------	---------------

(2) 基本財産積立事業 【決算額：0円】

積立金残高	2, 100, 000円 (2,100,000)
-------	--------------------------

(3) 退職給与積立事業 【決算額：6,137,768円】

退職共済預け金残高	18, 113, 610円 (16,065,750円)
積立預金残高	7, 581, 642円 (7,570,512円)
預貯金残高	43, 368, 352円 (36,460,330円)
計	69, 063, 604円 (60,096,592円)

(4) 福祉基金運用事業 【決算額：0円】

福祉基金残高	9, 620, 534円 (7,312,000円)
--------	---------------------------

(5) ボランティア基金運用事業 【決算額：6,521円】

ボランティア基金残高	9, 369, 521円 (9,363,000円)
------------	---------------------------

(6) 地域共生事業 【決算額：31,938,425円】

高齢者、障がい者、子どもに対する、さまざまな支援事業を行っていることを活かし、子どもから高齢者まで誰もが利用可能な地域共生型福祉施設の設置しました。

2 地域福祉活動部門(自主事業) 【決算額：12,043,132円】

(1) 地域福祉活動事業 【決算額：5,384,784円】

① CAPプログラム助成事業

子どもへの暴力防止プログラム事業	1校 (1校)	115, 280円 (160,540円)
------------------	------------	-------------------------

② 社会福祉協力校(福祉実践教室開催校)指定事業

社会福祉協力校指定(助成)事業	8校 (8校)	800, 000円 (800,000円)
-----------------	------------	-------------------------

③ 心配ごと相談事業

市民の日常生活のあらゆる相談に対し、専門家である弁護士が応じ、適切な助言、援助を行い、相談支援体制の強化を図ると共に地域住民の福祉の増進に努めました。

■相談所開設日数 24日(月2回)

相談内容	相談件数
離婚	22 (12)
相続	17 (11)
金銭トラブル	11 (9)
家庭内・夫婦間トラブル	7 (32)
不動産トラブル	19 (15)
借金・自己破産	7 (2)
その他	14 (21)
合計	97 (102)

④ 車椅子貸出事業

在宅の要介護者及び身体障害者等に対し車椅子を貸し出し、日常生活の便宜や外出の促進を図り、その福祉の増進に努めました。

■利用状況（年度末所有台数 51 台） 46 台稼動

利用者数 141 人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出(件)	40(37)	39(41)	32(33)	39(30)	43(33)	35(36)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
40(30)	36(29)	30(32)	36(25)	27(28)	33(36)	430(390)

⑤ 助成事業

福祉団体の活動を支援し、福祉の増進に努めました。

区分	団体(園)数	助成額(円)
福祉団体に対する助成	16(16)	1,145,000(1,139,000)
一般助成	12(11)	440,000(404,000)
指定助成	1(1)	435,000(435,000)
特別事業助成	3(4)	270,000(300,000)
高齢者と園児とのふれあい事業	3(3)	37,326(29,956)
計		1,182,326(1,168,956)

⑥ わくわくフェスティバル

「つながり、支え合い、安心のしくみづくり」を基本理念として、地域に暮らす一人ひとりが共に支えあう地域福祉活動を推進するために開催しました。

- ・主 催 高浜市わくわくフェスティバル実行委員会
- ・日 時 11月6日(日) 午前9時30分～午後3時00分
- ・場 所 高浜市いきいき広場一帯
- ・テ ー マ もっとつながれ「話・輪・和 つながりの輪は∞(無限大)」
- ・出展団体 ボランティア・市民団体等 59団体(60団体)
- ・協力団体 ボランティア・賛助企業等 8団体(11団体)
- ・ボランティア 延べ256人(235人)
- ・来場者数 3,600人(3,500人)

(2) ボランティアひろばセンター事業

【決算額：4,003,009円】

28年度は、昨年度の団体訪問・事業所訪問でよせられたご意見をもとに、新たなつながりづくりに積極的に取り組んでまいりました。個人だけでなく、団体間の連携や、新しい取組などをしっかりサポートしていけるボランティアひろばセンター運営に努めました。

ボランティア活動人材の発掘と育成に努め、活動への参加促進を図りました。

■ ボランティア登録

	人数等
団 体	108団体 1,911人 (110団体 2,076人)
個 人	95人 (88人)
合 計	2,005人 (2,164人)

■ ボランティア保険

	件数等
活動保険	1,470人 (1,372人)
行事保険	48件 (41件)
移送保険	12人 (16人)

■ ボランティア相談・コーディネート

	人数
ボランティアの支援相談	401 (332)
ボランティアの活動相談	10 (1)
コーディネート件数	411 (333)

■ ボランティアセンターだよりの発刊 年5回

■ ボランティア講座の開催

講 座 名	回数 (回)	参加者 (人)
さわやかふれあい講座 「地域でボランティアデビュー!! 応援講座」	2	のべ24
災害ボランティアコーディネーター養成講座 (公開講座を含む)	2 (3)	13 (17)
手話奉仕員養成講座 入門課程 (27年度基礎課程)	22 (22)	16 (12)

■ ボランティア井戸端会議の開催

日 時 3月12日 (日) 10:00~12:00
場 所 いきいき広場 いきいきホール
参加者 24人 (31人)

(3) ふれあいサービス事業

【決算額：2,324,760円】

市民参加と協力による相互扶助の精神に基づき、家事、介護、移送サービス等を提供し、福祉の向上に努めました。

■会員登録

	人数（人）	
利用会員	104	(92)
協力会員	31	(29)
賛助会員	79	(61)

■活動状況

	件数	活動時間
家事援助サービス	214 (268)	258 (342)
介護サービス	91 (61)	215 (127)
障がい者自立支援サービス	0 (0)	0 (0)
子育て支援サービス	95 (79)	96 (79)
移送サービス	761 (807)	778 (816)

(4) こころん号貸出事業

【決算額：330,579円】

■利用状況

	利用実績
件数	142 (174)

3 地域福祉活動部門(受託事業)

【決算額：50,584,451円】

(1) 安心生活応援プラン事業

【決算額：421,494円】

■ニーズキャッチの組みづくり

- ・ひとり暮らし高齢者のニーズ把握

民生・児童委員のご協力により、ひとり暮らしの方に、日頃の生活において困っていることや不安なことの聞き取り調査を行いました。

対象者：65歳以上の高齢者数 8,832人

調査総数：1,077人 男440人・女637人

■地域の見守りネットワークづくり

(高浜南部まちづくり協議会)

- ・地域において日中孤立になる可能性がある75歳以上の高齢者と未婚の子世帯を対象に、地域の方に訪問していただきました。
- ・まちづくり協議会と訪問の状況共有：毎月1回
気になる対象者には、訪問を行い、専門職へつなぎました。
- ・「青空市」の開催：毎週日曜日

(吉浜まちづくり協議会)

- ・地域の困りごと及び見守りを「お互いじゃんネット」事業につなげるため、毎月1回吉浜まちづくり協議会高齢者生きがいグループの会議に参加。

(2) 生活支援員派遣事業

【決算額： 2,215,511 円】

判断能力の不十分な高齢者等に対し、福祉サービスに係る情報提供及び利用援助並びに金銭管理等を行う生活支援員を派遣し、要介護者等が地域において自立した生活が送れるよう支援しました。

区 分	利用者 (人)	延べ支援回数 (回)
障がい者	14 (15)	657 (397)
高齢者	15 (13)	597 (556)

新規利用者 13件

(3) 高齢者給食サービス事業

【決算額： 8,022,721 円】

65歳以上の一人暮らしと高齢者世帯を対象に、市内の6店の協力を得て、毎日夕食を配達し、在宅において継続した自立支援と安否確認に努めました。

■ 1食単価 600円

区 分	利用者数 (人)	延べ配食数 (食)
自立支援 (本人負担350円)	76 (93)	11,150 (14,248)
見守り (本人負担450円)	11 (14)	1,512 (1,390)
計	87 (107)	12,662 (15,638)

(4) 送迎サービス事業

【決算額： 1,216,195 円】

宅老所への送迎を実施しました。

区 分	回数 (片道：1回)	延べ人数 (人)
宅老所	716 (718)	4,306 (2,859)

(5) いきいき健康マイレージ事業

【決算額： 4,646,371 円】

■登録状況

区 分	登録者 (人)
健康づくり活動	1,068 (1,009)
福祉ボランティア活動	171 (161)
合計	1,239 (1,170)

※ 活動重複者：123名 (113名)

■福祉ボランティア活動受入施設

区 分	施設数
高齢者関連施設	26 (26)
子育て関連施設	22 (22)
障がい者関連施設	5 (5)

(6) ライフサポートアドバイザー（LSA）派遣事業 【決算額：1,929,087円】

市内にある高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）、県営赤松住宅、県営葭池住宅で生活する高齢者に対して、生活援助員を派遣しました。

区 分	県営赤松住宅	県営葭池住宅	計
派遣日数	2 4 3 (243) 日	2 4 3 (243) 日	4 8 6 (486) 日
緊急通報	1 (1) 件	7 (8) 件	8 (9) 件
誤報	6 (15) 件	2 1 (15) 件	2 7 (30) 件
生活相談	4 (5) 件	1 (2) 件	5 (7) 件
対人関係	4 (4) 件	1 (0) 件	5 (4) 件
その他	4 5 (54) 件	8 (16) 件	5 3 (70) 件

(7) 居宅介護等支援給付事業 【決算額：16,954,180円】

介護用品や理・美容サービスが購入できる居宅介護支援券について、指定事業者の登録や居宅介護支援券の換金業務を行い、居宅における介護を側面的に支援しました。

区 分	店舗数	換 金 額 (円)
介護用品販売業	1 5 (16)	1 0, 1 3 9, 6 0 0 (10,845,600)
理容業	2 3 (22)	2, 2 9 3, 1 0 0 (2,506,300)
美容業	3 1 (29)	2, 5 6 7, 0 0 0 (2,228,100)
その他	3 (3)	5 1 2, 0 0 0 (670,000)
合 計	7 2 (70)	1 5, 5 1 1, 7 0 0 (16,250,000)

(8) 生活困窮者自立支援事業 【決算額：15,128,892円】

いきいき広場において開設された生活困窮相談窓口に自立相談支援員を配置し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施し、生活困窮者の自立促進を図りました。

■ 相談件数

区 分		合 計 (件)
相談受付総数（本人未特定の相談を含む）		1 6 1 (164)
新規相談受付件数（本人同意なしを含む）		7 7 (128)
うち	家計相談支援事業利用	6 (6)
	自立相談支援事業による就労支援利用	8 (6)
支援実績（面談）支援実施延べ回数		5 1 6 (366)
支援実績（支援調整会議）プラン及び評価		3 8 (22)

4 地域福祉活動部門(資金貸付) 【決算額：379,500円】

(1) 生活福祉資金貸付事業 【決算額：207,000円】

	件数	合計金額 (円)
貸付	<2> (0)	<1,259,000> (0)

※ 愛知県社会福祉協議会からの受託事業。

※ 貸付金は、愛知県社会福祉協議会より直接貸付。

(2) 愛の援護資金貸付事業 【決算額：0円】

	件数	合計金額 (円)
貸付	0 (1)	0 (85,500)
償還	2 (0)	20,000 (0)

※ 貸付限度額 100,000円/世帯

(3) 法外援護資金貸付事業 【決算額：172,500円】

	件数	合計金額 (円)
貸付	24 (13)	166,500 (142,500)
償還	44 (24)	282,500 (162,000)

※ 貸付限度額 30,000円/世帯

(4) 高等学校奨学金貸付事業 【決算額：0円】

	件数	合計金額 (円)
貸付	0 (0)	0 (0)
償還	0 (0)	0 (0)

5 地域福祉活動部門(共同募金) 【決算額：4,305,686円】

(1) 高齢者福祉事業 【決算額：503,886円】

■ ふれあいサービス事業

■ 車いす貸出事業整備費

(2) 障害児(者)福祉事業 【決算額：443,000円】

■ おもちゃライブラリーの運営

■ こころん号貸出事業

(3) 児童福祉事業 【決算額：870,000円】

■ 社会福祉協力校指定事業

■ 子どもへの暴力防止プログラム事業

(4) ボランティア等事業 【決算額：2,250,000円】

■ 安心生活応援プラン事業

■ 社会福祉協議会広報紙「ふくし」の発行

■ 高浜市わくわくフェスティバル

(5) 歳末助けあい事業 【決算額：238,800円】

■ 生活困窮者世帯への支援

6 障がい者支援部門

【決算額：44,751,532円】

(1) 障がい者相談支援事業

【決算額：44,751,532円】

「働きたい」を実現するため、障がい者のつながりを広げることを基本目標に、総合コーディネーター及び就労担当相談員を障害者相談支援事業所に配置し、企業、関係機関、地域と連携を図り障がい者の就労支援体制、就労後のフォロー体制の構築に取り組みました。

障がい者の相談やケース会議や障害福祉サービス事業所の会議を通じて、地域の課題を抽出し障害者地域自立支援協議会に挙げて検討しました。

①相談支援

■相談実施状況

延べ884名の相談を実施しました（27年度に比べて200件の増加）。障がい児は平成27年度に比べて1.5倍となっており、障がい者も約100名の増加となっています。障がい別にみた相談件数は次のとおりです（単位：人）。

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
障害者	129	6	286	215	21	7	12	676
障害児	54	0	112	4	36	0	2	208
合計	183	6	398	219	57	7	14	884

また、7名の相談員が障害福祉サービス利用希望者に対して、障がい者259名、障がい児99名、合計358名の利用計画を作成して、スムーズな利用につなげました。

■市内の相談ネットワークの構築と人材育成

- ・児童発達支援や放課後等デイサービスなどの子どもに関する障害福祉サービス事業所が市内4か所になったこともあり、内容や手続きを知ってもらうために、家族に対して「子どもに関する障害福祉サービス事業説明会」を開催しました。
- ・こども発達センターと共同で、障害福祉サービスの利用も含めた子どもの発達についての支援を検討する「こども発達支援検討会議」を立ち上げ、月2回実施しました。
- ・愛知県相談支援専門員協会の講師派遣事業研修やアドバイザーを招いての事例研修など、市内の事業所職員や相談員の知識やスキルの向上に努めました。
- ・安城特別支援学校学区域の障害者相談支援事業所が集まって、相談支援、生活支援についての勉強会を毎月開催（12回）。
- ・安城特別支援学校地区別懇談会に参加して、保護者とともに地域に必要な内容を話し合い、勉強会や障害福祉サービス事業所見学会などを共同企画して実施しました（地区別懇談会の開催：5回）。

②就労支援

■就労支援の実施状況

- ・ 3名の就職者の支援をしました。そのうち2名は就労移行支援事業所などの利用者で、事業所の職員と連携して支援しました。
- ・ 11名（就職者除く）の就労希望者に対して、面談したりハローワークや企業での面接に同行するなどの支援をしました。
- ・ 28名の定着支援を実施し、就労継続に向けて支援や転職の相談をしました。

■就労支援についての人材育成やネットワーク構築

- ・ 市内の就労移行支援事業所などを訪問し、就職希望者について打合せや就労に関する情報収集を行ったり、家族向けの勉強会を共同で企画実施しました。
- ・ 企業や商工会、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター、病院などのメンバーで高浜市障害者就労支援会議を開催し、ネットワークを活かしてアンケート調査や勉強会を実施しました。
- ・ 安城特別支援学校学区の就労移行支援事業所などの事業所が集まって、就労支援についての勉強会を開催したり（5回）、地域の就労支援についての知識とスキルの向上を図るため、「J C - N E T ジョブコーチセミナー i n 西三河南部」を安城市で共同開催しました。

■「たかはまはたらこ通信」の発行

年3回各200部発行（チャレンジサポートたかはま委託）

③地域のしくみやカタチをつくる

■こども発達センターや園、小・中学校などとの連携

- ・ こども発達センターと共同で、連続研修を4回実施したり、園や学校から障がい者支援センターまで相談をつなぐ仕組みを検討しました。
- ・ 教育委員会主催の会議に参加して、情報共有や意見交換をしました。

■ボッチャの普及を通じた障がいのある人と市民との交流

- ・ 「ボッチャ普及連絡会」を運営し、ボッチャの体験コーナーや競技大会を実施することで、障がいのある人の地域での役割を作ったり市民との交流を図ったりしました。

■生涯現役のまちづくり事業との連携

- ・ 生涯現役のまちづくり事業が推進している「健康自生地」の展開を通じて、障がいのある人の居場所作りの検討をしました。

7 在宅福祉サービス部門

【決算額：341,553,947円】

(1) 訪問介護事業

【決算額：70,546,325円】

スマートフォンなどの活用により、利用者情報の随時把握、職員の業務管理の適正化を実施し、情報の共有をしながらの業務執行に努めました。他事業所との連携や研修により、利用者のニーズに応えられるよう質の向上に努めました。

■訪問介護

区 分	延べ利用者 (人)	延べ利用回数
要支援 1	1 0 9 (108)	6 0 6 (652)
要支援 2	2 6 8 (345)	2, 1 0 2 (2, 729)
要介護 1	2 0 4 (275)	3, 0 5 4 (4, 266)
要介護 2	2 5 3 (260)	4, 0 1 9 (5, 617)
要介護 3	1 9 7 (167)	4, 7 5 7 (3, 084)
要介護 4	1 4 0 (147)	2, 6 2 0 (2, 847)
要介護 5	1 1 8 (124)	4, 2 7 3 (2, 892)
合 計	1, 2 8 9 (1, 426)	2 1, 4 3 1 (22, 087)

(2) 定期巡回訪問介護事業

【決算額：2, 459, 377 円】

利用者の身体の状態や生活の状況にあわせ柔軟に対応し、生活全般を支えられるようケアマネジャーや訪問看護との連携を綿密にとり、安心して在宅生活が送れるよう努めました。

(3) こころんサービス事業

【決算額：112, 644, 989 円】

障がい相談員とのミーティングを定期的に持ち、情報の共有化、問題点の可視化、短期目標の設定等を行ってきました。自立に向けて何が必要かを明確にし、ニーズに応えられるよう努めました。

■利用状況

区 分	延べ利用者 (人)	延べ利用時間
居宅介護	5 7 3 (530)	6, 0 3 8 (6, 834)
同行援護	4 8 (54)	4 6 4 (396)
重度訪問介護	1 2 (12)	1 7 2 (74)
移動支援	3 5 0 (431)	1, 6 8 8 (2, 451)
合 計	9 8 3 (1, 027)	8, 3 6 2 (9, 755)

(4) 通所介護事業

【決算額：49, 381, 750 円】

要介護状態又は要支援状態にある高齢者の方に対し、心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ、自立した生活が送れるように努めました。

南部保育園の園児との交流、夏祭り、運動会でのボランティアさんとの交流を行い、地域とのかかわりができる様に努めました。

さらに、医療面では胃ろう、吸痰導尿などが必要な方が安心してご利用できるよう各関係機関と綿密な連携を図り、ご家族、利用者の方への総合的なサービスの提供に努めました。

■主な行事

- ・誕生日会 (毎月)
- ・季節行事 (花見、七夕、敬老会、運動会、忘年会、初詣、節分等)

■ 利用実績

区 分	延べ利用回数
要支援1	0 (0)
要支援2	1 6 7 (227)
要介護1	1, 3 0 1 (1, 733)
要介護2	8 1 4 (1, 184)
要介護3	1, 0 3 4 (1, 048)
要介護4	9 9 7 (844)
要介護5	4 0 9 (466)
合 計	4, 7 2 2 (5, 502)

(5) 障害児（者）デイサービス事業

【決算額：2,436,000円】

障がい児（者）がその有する能力及び適正に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護等を行いました。

■利用状況

区 分	延べ利用者（人）
生活介護	4 2 8 (227)
放課後デイ	7 0 (24)
合 計	4 9 8 (251)

(6) 認知症対応型共同生活介護事業

【決算額：34,550,095円】

要介護者であって認知症状態にある高齢者に対し、共同生活において家庭的な環境の下で、食事を一緒に作り、洗濯物を干したり、一緒に掃除をしたり、生活の中での活動を通じて残存機能維持を図りました。又、認知症の進行防止と体力維持に向けて散歩を日課とし、本人の生活スタイルや希望に応えることを大切にしました。

■ 主な行事

- ・ 季節行事（相撲部屋見学、花見、七夕、クリスマス会、市外・県外外出等）
- ・ 家族交流会（年2回）、家族定例会（年4回）
- ・ 他施設と行事交流（音楽・体操・ダンス）
- ・ 学校との交流（認知症学習への協力）
- ・ ボランティア活動（毎月清掃活動に参加）
- ・ 避難訓練

■入居状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数(人)	6 (6)	6 (5)	5 (6)	5 (6)	6 (6)	6 (6)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6 (6)	5 (6)	6 (6)	6 (6)	5 (6)	6 (6)	6 8 (71)

■利用者要介護度（平成29年3月末現在）

区分	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0 (-)	2 (4)	3 (0)	1 (0)	0 (2)	0 (0)	6 (6)

(7) 地域共生型総合事業

【決算額：17,840,753円】

総合事業対象者の高齢者に対して、その有する能力に応じ、自立した日常生活ができるよう、日常生活上の世話・支援及び機能訓練を行いました。

利用者の心身の状況や家庭環境等を踏まえ、介護保険法その他関係法令及びこの契約の定めに基づき、関係する市町村や事業者、地域の保健・医療・福祉サービス等と綿密な連携を図りながら、利用者の要支援状態の軽減や悪化の防止、もしくは要介護状態となることの予防のため、適切なサービスの提供に努めました。

■主な行事

- ・季節行事（花見、紅葉狩り等）
- ・おやつ作り
- ・手作り品（財布等）制作、販売

■利用実績（人）

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者	2	2	3	5	6	8	8	8	10	11
要支援1			1	3	3	5	4	6	7	7
要支援2	1	1	3	4	3	3	2	4	3	2
合計	3	3	7	12	12	16	14	18	20	20

(8) 地域共生型グループホーム事業

【決算額：56,878,658円】

■主な行事

- ・季節行事・外出（初詣、相撲部屋見学、花見「梅・桜・菜の花・コスモス等」、七夕祭り、彼岸花見学、市民会館歌謡ショー、誕生日会、桜祭り、おまんこ祭り、外食等）
- ・地域交流（認知症カフェ、青空市、お月見会、クリスマス会、餅つき大会、お抹茶会、敬老会、ハロウィンパーティー、お月見会、敬老会、ピザパーティー等）
- ・ボランティア参加（アコーディオン・ウクレレ・ピアノ・ギター・ハーモニカ等演奏会、餅つき、人形劇、マジックショー、クリスマス会等）
- ・消しゴムはんこ作り、フラワーアレンジメント・絵・陶芸・手芸教室、こけ玉作り、カラオケ参加）
- ・避難訓練、運営推進会議、家族会

■入居状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数(人)			8	10	12	14
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	18	18	18	18	17	148

■利用者要介護度 (平成29年3月末現在)

区分	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	7	5	4	1	0	17

8 子育て支援部門(南部保育園事業)

【決算額：136,107,306円】

(1) 南部保育園管理運営事業

【決算額：136,107,306円】

民間保育所である高浜南部保育園の特性を十分に生かし、延長保育、一時保育、乳児保育、障がい児保育など多様化する保育ニーズに柔軟に対応し、共働き家庭の保育を支援するとともに、養護の行き届いた環境のもとで、心身の健全な育成に努めました。

■ 入園状況 (月平均137人)

定員	年間延べ園児数(人)
120	1,647(1,665)

■年齢別

0歳児	1～2歳児	3歳児	4～5歳児	計
5.5人 (5.6人)	43.75人 (43.9人)	29.9人 (29.9人)	58.08人 (59.5人)	137.25人 (138.9人)

一時的保育事業

保護者の就労、疾病等緊急事由により、一時的に家庭での保育が困難となった児童を預かり、保護者の負担を和らげるよう子育て支援に努めました。

■受け入れ状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
人数(人)	57(52)	61(21)	64(25)	53(57)	49(54)	70(46)	72(63)
11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	
59(56)	59(62)	72(93)	97(98)	117(108)	840(735)	2.86(2.5)	

9 子育て支援部門(中央保育園事業)

【決算額：138,441,362円】

(1) 中央保育園管理運営事業

【決算額：138,441,362円】

園児や保護者が不安にならず、安心していただけるよう保育に努めました。児童センターとの連携を持ち、地域に根ざした保育園になるよう取り組みました。

■ 入園状況（月平均 192人）

定員	年間延べ園児数（人）
190	2,298（2,364）

■ 年齢別

0歳児	1～2歳児	3歳児	4～5歳児	H28合計
8.1人 (9.0人)	32.5人 (33.0人)	48人 (49.2人)	103人 (105.8人)	191.6人 (197人)

10 子育て支援部門(中央児童センター)

【決算額：21,480,719円】

(1) 中央児童センター管理運営事業

【決算額：12,276,706円】

乳幼児親子に対し、発達センターと連携し健診後の気になる子のフォローとして、集団生活の経験を通し問題の軽減や改善を図り就園につなげていく親子教室や、児童に対し、豊かで多様な経験ができるような行事やクラブ活動を提供しました。

■ 受入状況

	利用者（人）
自由遊び	3,278（4,478）
運動遊び	49（6）
母親クラブ	503（566）
子どもクラブ	526（1,147）
親子教室	517（1,387）
センターキッズ	952（704）
行事	295（340）
計	6,120（8,628）

(2) 中央児童クラブ運営事業

【決算額：9,204,013円】

昼間保護者のいない家庭の小学生1～6年を対象に放課後や学校休業日の預かりをしています。異年齢集団の中で相手を思いやることや、陶芸や木工等のさまざまな活動を経験できる機会を設けたりし、一人ひとりが楽しく安心した放課後を過ごせるようにしました。

■ 受入状況

	在籍数（人）	延人数（人）
4月	49（44）	755（663）
5月	44（42）	615（569）
6月	44（41）	722（706）
7月	53（50）	745（760）
8月	53（52）	754（611）
9月	44（43）	676（595）
10月	44（42）	657（667）
11月	42（39）	622（533）

12月	41 (37)	547 (473)
1月	41 (37)	531 (456)
2月	41 (36)	571 (458)
3月	42 (37)	614 (560)
計	538 (500)	7,809 (7,051)

1.1 子育て支援部門(自主事業)

【決算額：6,998,093円】

(1) 子育て支援センター事業

【決算額：6,998,093円】

家庭の育児不安等の相談指導、子育てサークルの育成、親子遊びの援助等地域全体の子育て支援に努めました。

■ 受入状況

項目	回数	利用者(人)
相談(育児なんでも相談含)	随時	74
自主活動の日(自由遊び)	217	4,380
遊びの時間	18	357
ママタイム(リフレッシュ講座)	16	199
育児講演会	2	40
親子体操「パパと一緒に♪」	10	233
ほっとひといきティータイム♪	9	189
親子教室	71	367
遊びのひろば(2月～開始)	6	99
計		5,938

■ 保健センターとの合同事業

	回数	利用者(人)
のびのびひろば	10	277
パパママ教室	2	36
計		313

1.2 子育て支援部門(受託事業)

【決算額：8,293,555円】

(1) こども発達センター運営事業

【決算額：8,293,555円】

高浜市のこども発達センターに専門職を配置しました。

■ 臨床心理士 1名

■ 作業療法士 2名

■ 言語聴覚士 1名

II 公益事業

13 地域福祉活動部門（公益受託事業）

【決算額：19,439,987円】

(1) 権利擁護支援センター運営事業

【決算額：12,299,938円】

重層化・複雑化する相談等に対し、権利擁護の幅広い視点での対応を推進する権利擁護支援センターの運営を行いました。

■ 専門職や事業所からの相談件数 137件

■ 権利擁護支援センター先進地実習

実習先 愛知県知多市 NPO法人知多地域成年後見センター

実習期間 11月 7日～11月21日

12月 5日～12月16日

■ 権利擁護専門相談の開催

開催回数 15回（弁護士と福祉職 10回、司法書士と福祉職 5回）

（14回 弁護士と福祉職 10回、司法書士と福祉職 4回）

相談件数 16ケース（14ケース）

■ 権利擁護支援研修会の開催

講師 上田 晴男氏（全国権利擁護支援ネットワーク事務局長）

場所 いきいき広場3階 研修室A（全3回）

	1回目	2回目	3回目
日時	7月4日（月） （15:00～17:00）	10月3日（月） （15:00～17:00）	1月30日（月） （15:00～17:00）
テーマ	虐待ケースの見立てと支援	意思決定支援と権利擁護	支援の捉え方と事業の見立て
参加者	22名	27名	16名

(2) 宅老所管理運営事業

【決算額：7,140,049円】

■ 新規登録者数 48人（26人）

■ 施設延利用者数 7,375人（6,487人）

■ 施設別利用状況

区分	利用者（人）	1日当たり（人）
じい&ばあ	1,205（1,194）	7.9（7.8）
いっぷく	1,807（1,710）	17.5（16.6）
あっぽ	1,910（816）	18.7（8.0）
こっちゃん	1,186（1,352）	11.5（13.1）
悠遊たかとり	1,267（1,415）	12.3（13.7）
合計	7,375（6,487）	

1.4 在宅福祉サービス部門

【決算額：49,531,487円】

(1) 訪問入浴介護事業

【決算額：12,004,000円】

要介護状態又は要支援状態にある利用者に対し、心身の特性を踏まえ、残存機能を活かしながら、清潔の保持、気分転換をしていただけるよう居宅における入浴のサービスに努めました。

各関係機関と綿密な連携を図り、利用者1人1人のニーズにあわせ創意工夫に努めました。

区分	延べ利用者(人)	延べ利用回数
要支援1	—	—
要支援2	6 (12)	44 (103)
要介護1	0 (0)	0 (0)
要介護2	5 (16)	39 (72)
要介護3	29 (52)	123 (271)
要介護4	21 (41)	83 (198)
要介護5	65 (65)	286 (290)
合計	126 (186)	575 (934)

(2) 小規模多機能型居宅介護事業

【決算額：14,815,729円】

地域密着型サービス事業所として、地域との交流を視野に入れサービス提供をしてきました。

さわたりふれあいサロンの行事参加、中央保育園・みどり学園への卒園プレゼントなど小規模多機能型居宅介護「オリーブ」が地域と交流し地域住民に認知してもらえるよう活動しました。

■主な行事

- ・季節行事（初詣、節分、ひな祭り、花見、こどもの日、菖蒲見学、七夕、お月見会、遠足、ハロウィン、クリスマス会、バレンタイン等）
- ・避難訓練（沢渡町防災訓練参加）
- ・地域交流（保育園訪問、さわたりふれあいサロン行事、沢渡町運動会参加等）
- ・施設交流（市内事業所作品展出展、南部デイサービス行事参加等）

■利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	7 (7)	7 (8)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	7 (7)	7 (7)	7 (7)	7 (6)	8 (6)	8 (6)	82 (78)

■利用者要介護度（平成29年3月末現在）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	1 (0)	0 (1)	4 (3)	3 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (6)

(3) 障害訪問入浴・日中一時支援事業

【決算額：3,408,521円】

入浴が困難な障がいのある方に対し、訪問による入浴サービスを提供し、身体の清潔の保持や心身機能の維持に努めました。障がい者を日常的に介護している家族に対しても、一時的な休息を提供できるよう努めました。

■障害訪問入浴 利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	2	2	2	2	2	2
延べ利用者数	10	6	8	10	8	8
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	2	2	2	2	2	24
9	7	8	8	8	8	98

■日中一時支援事業 利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	16	17	15	15	14	15
延べ利用者数	47	51	51	48	37	48
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	15	16	18	15	15	186
46	43	44	49	47	45	556

(4) 居宅介護支援事業

【決算額：19,303,237円】

要介護状態又は要支援状態にある高齢者等に対し、利用者の心身の状況やその環境に応じて、利用者の意思及び人格を尊重し、各関係機関との綿密な連携を図り、適正な居宅介護支援に努めました。

3月には特定事業所加算を算定しました。それに加えて、24時間連絡や相談できる体制を整えました。

■延べ利用者 : 1,140人(1,568人)

■1月当たり平均 : 95人(130人)

■利用者要介護度(平成29年3月末現在)

区分	要支援1	要支援2	要介護1
人数(人)	3(1)	9(13)	33(32)

要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
38(37)	13(19)	7(13)	4(7)	109(122)

■介護認定調査件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	15(40)	3(30)	6(40)	5(40)	3(34)	1(29)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4(36)	4(30)	14(26)	12(25)	14(34)	14(24)	95(388)

15 子育て支援部門(公益自主事業)

【決算額：10,063,576円】

(1) 家庭的保育事業

【決算額：10,063,576円】

託児所「キッズルームこころん」に併設し、家庭的な雰囲気の中で保育し子育て家庭を支援しました。

■利用状況(月平均4.7人)

定員	年齢	年間延べ利用者(人)
5人	0歳児	9(0)
	1歳児	12(31)
	2歳児	36(24)
	計	57(55)

16 子育て支援部門(公益受託事業)

【決算額：22,681,977円】

(1) みどり学園管理運営事業

【決算額：22,681,977円】

小学校就学前の心身の発達に遅れのある児童をその保護者とともに集団療育し、児童の社会生活適応能力及び基本的な生活習慣の自立促進並びに保護者の家庭における療育方法の習得に努めました。

低年齢の幼児とその保護者を早期に療育につなげるため、保健福祉グループの1歳半健診事後教室にスタッフとして参加しました。また、増設して3年目となる低年齢グループの療育活動充実に努めました。

こども発達センター専門職や保健師等関係機関と連携し、保護者研修や保護者個別相談を実施し、子どもの発達支援や保護者支援に取り組みました。

OB・地域とのつながりにも重点を置きながら、ふれあい教室やなつまつり、運動会などを行いました。

■利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者(人)	437 (359)	579 (430)	608 (483)	829 (675)	555 (338)	510 (358)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
459 (418)	484 (314)	449 (403)	410 (431)	443 (516)	484 (483)	6,247 (5,208)	520.5 (434.0)

Ⅲ 収益事業

17 地域福祉活動部門(収益自主事業)

【決算額：212,795円】

(1) 自動販売機設置事業

【決算額：212,795円】

社会福祉制度の維持・充実を図るには、本会においても財源調達力を高める必要があることから、飲料水自動販売機の設置による自主財源の確保に努めました。

- 設置場所 高浜南部保育園 1台
- 小規模多機能型居宅介護事業所「オリーブ」 1台
- いきいき広場3階 2台

		高浜南部 保育園	小規模多機能 型居宅介護 「オリーブ」	いきいき広場	計
売上本数 (本)	年間	1,707 (1,285)	1,032 (1,068)	6,930 (7,251)	9,669 (9,604)
	月平均	142 (107)	86 (89)	577 (604)	805 (800)
売上金額 (円)	年間	59,745 (44,975)	36,120 (37,380)	176,349 (179,398)	272,214 (261,753)
	月平均	4,979 (3,748)	3,010 (3,115)	14,696 (14,950)	22,685 (21,813)

18 理事会、評議員会、監査会開催状況

- 理事、評議員会 平成28年5月23日 いきいき広場 2階ホール

○主な議案

- ・平成27年度事業報告並びに収支決算の認定について
- ・高浜市社会福祉協議会経理規程の一部改正について(理事会)
- ・高浜市社会福祉協議会指定認知症対応型共同生活介護(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)事業所運営規程の一部改正について(理事会)
- ・高浜市社会福祉協議会高浜市介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスA運営規定の制定について(理事会)
- ・平成28年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会一般会計補正予算(第1回)について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会評議員の選任について(理事会)
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会理事の選任について(評議会)
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会監事の選任について(評議会)

○報告事項

- ・給食調理業務委託(中央保育園)に係る随意契約について
- ・給食調理業務委託(高浜南部保育園・指定通所介護事業所)に係る随意契約について
- ・地域共生型福祉施設地域交流スペース備品購入に係る指名競争入札参加業者の指名について

- ・地域共生型福祉施設地域福祉スペース備品購入に係る指名競争入札参加業者の指名について

■ 臨時理事会 平成28年6月1日 いきいき広場 研修室

○主な議案

- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会会長及び副会長の選任について

■ 理事会 平成28年9月20日 いきいき広場 研究室

○主な議案

- ・高浜市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- ・高浜市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程、高浜市社会福祉協議会連携型指定定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所運営規程、高浜市社会福祉協議会指定通所介護・指定介護予防通所介護事業所運営規程、高浜市社会福祉協議会指定訪問入浴介護事業所運営規程、高浜市社会福祉協議会指定小規模多機能型居宅介護事業所運営規程、高浜市社会福祉協議会指定認知症対応型共同生活介護（指定介護予防認知症対応型共同生活介護）事業所運営規程及び高浜市社会福祉協議会高浜市介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスA運営規程の一部改正について
- ・高浜市社会福祉協議会高浜市ふれあいサービス事業実施要綱の一部改正について
- ・平成28年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会補正予算（第3回）について

○報告事項

- ・平成28年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会補正予算（第2回）について

■ 評議員会 平成28年10月12日 いきいき広場 1階会議室B

○主な議案

- ・平成28年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会一般会計補正予算（第3回）について

■ 理事会、評議員会 平成28年12月26日 いきいき広場 会議室B（理事会）、いきいき広場ホール（評議会）

○主な議案

- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会定款の全部改正について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の制定について（理事会）
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について（理事会）
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会障害者相談支援事業所運営規程の一部改正について（理事会）

- ・平成28年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会補正予算（第4回）について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会認知症対応型共同生活介護事業所あ・うんのスプリンクラー工事に係る指名競争入札参加業者の指名について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について（理事会）
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会評議員の選任について（理事会）
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会理事の選任について（評議会）

■ 臨時理事会 平成29年2月28日 いきいき広場 会議室B

○主な議案

- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について

■ 理事会、評議員会 平成28年3月27日 いきいき広場 会議室B（理事会）、いきいき広場ホール（評議会）

○主な議案

- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について（理事会）
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会経理規程の全部改正について（理事会）
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会福祉サービスに係る苦情解決規程の一部改正について（理事会）
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会職員の共済制度に関する規程の一部改正について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について（理事会）
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会補正予算（第5回）について
- ・平成29年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会事業計画について
- ・平成29年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会予算について
- ・給食調理業務委託（中央保育園）に係る随意契約について
- ・給食調理業務委託（高浜南部保育園・指定通所介護事業所）に係る随意契約について
- ・放課後児童支援員（中央児童クラブ）業務委託に係る随意契約について